

台風の前に備えよう！自分で出来る自宅対策

業界初の個人向け不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）を提供している“不動産の達人 株式会社さくら事務所”（東京都渋谷区／代表：大西倫加）。台風による建物の被害や不安が多い季節。同社には「軒にいつもは見えない染みができる」といった雨漏り相談が寄せられることも。台風情報が入ったタイミングで急に大掛かりな補修工事などは難しいものですが、自宅でのちょっとした備えで防げるポイントもあります。そこで、**台風が接近する直前でも自分でできる台風対策ポイント**を下記にまとめました。他、一戸建て特有のポイントもありますので、解説などをご希望の方はお気軽にご連絡ください。

台風に備える！自分で出来る対策ポイント

雨対策

●バルコニー床にある側溝の排水口からゴミを取り除いておく

└ 落ち葉や繊維状のゴミにより排水能力が低くなると、バルコニーの形状によっては水が溜まってしまう恐れも

●植木やバケツ等、室内に入れる

└ 当たり前と思いつつも、バルコニーの手すりがコンクリート製の住戸などだと、入居後初めての台風などの際には油断しがち

●雨が降りそうな位置にある外壁給気口を（室内側で）一時的に閉める

└ 給気口内部にも水返しという止水板がついていることもあるが念のため。ただし通常の天候に戻ったら換気のために開けましょう

●マンションのピット式駐車場（機械式の地下駐車場）の場合、地下部分を地上に上げておく

└ 通常管理会社から掲示板・チラシなどで通知があります。地下部分が水没する可能性がありますので雨が降り出す前に対応しておくといでしょう



風対策

●24時間換気システムを一時停止する（説明書を確認）

└ 機械が回っていると、理論的には室内と屋外がつながった状態となるため、突風時に天井の換気扇から風が入ってきたり、ひどい風切り音が聞こえることも。24時間換気を一時停止するとそれらが改善することもあります。ただし、天候が戻ったら必ずスイッチを入れましょう

●室内のドア類をしっかりとドアストッパーなどに固定

└ 玄関ドアや窓を開けた瞬間に、ものすごい勢いでドアが閉まることがあり、大怪我をするおそれもあるので、強風の日のドアは常に閉めておくか、開けておくならしっかりとストッパーに固定するなど注意しましょう

●ガラスの飛散防止フィルム施工

└ 万が一の飛散物でガラスが割れてしまっても、破片が飛び散りづらいメリットが。台風対策だけでなく紫外線カット・赤外線カット・防犯性向上などの性能を備えたフィルムもあるため建物にあったものを選びましょう

●窓の施錠をする

└ 強風の場合は施錠していないと空いてしまう可能性も。すきま風の侵入や音の防止にもなります



■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <http://sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け不動産コンサルティング会社です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立しました。第三者性を堅持した住生活エージェント企業といった立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）や、不動産購入に関するさまざまなアドバイスを行なう「不動産の達人サービス」を提供、約25000組超の実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所 東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー 101 <http://sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0011 FAX 03-6455-0022 広報室：秋吉 美智子・安田 夏子 press@sakurajimusyo.com